



COVID-19

ワクチン ファクトシート

なぜワクチン接種をするのですか？



- COVID-19のワクチンは**安全で効果的です**。
- ワクチン摂取はあなたや大切な人が病気になったり、仕事を欠勤したり、入院、または死亡するのを防ぎます。
- ワクチンはCOVID-19のデルタ株にも有効です。その上ワクチンは、新型でよりさらに危険な変異株の感染リスクを下げます。

ワクチン接種を受けることができる人は？

12歳以上の方全員が受けられます

- 健康保険を持っていない方でも、誰もがワクチンを**無料**で受けられます。
- 滞在資格を問われることはありません。
- ワクチン接種は、妊娠中、または授乳中の女性、そしてすでにCOVID-19に感染した人を含む、12歳以上のすべての人に推奨されます。
- アレルギー体質の方のほとんどはワクチン接種を受けることができます。



ワクチンの接種方法

ロサンゼルス郡には接種会場が数百件以上あります。その多くは週末及び夜間も運営しており、予約は必要ありません。

最寄りの接種会場を見つけるには：

- **VaccinateLACounty.com**にアクセス、または**833-540-0473** (8am – 8:30pm)に電話する。
- 複数言語による案内が年中無休で利用可能な2-1-1に電話するか、かかりつけの医師またはお近くの薬剤師に相談する。
- 無料の送迎(往復)や自宅での訪問接種も可能です。

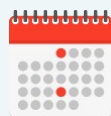


未成年者の方は親または保護者の同意が必要です。

アメリカではどのワクチンが接種可能ですか？

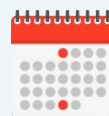
Pfizer

接種対象者: 12歳以上の人
接種方法: 21日空けて2回接種



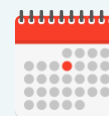
Moderna

接種対象者: 18歳以上の人
接種方法: 28日空けて2回接種



Johnson & Johnson

接種対象者: 18歳以上の人
接種方法: 1回接種



中程度から重度の免疫不全状態、または免疫力が低下している場合は、追加のワクチン接種が必要になることがあります。かかりつけ医にご相談ください。



COVID-19

ワクチンファクトシート

どのような副反応がありますか？

- ワクチンの副反応は一般的です。腕の痛みや赤み、疲労感、発熱、悪寒、頭痛や筋肉痛などが一般的です。これはあなたがCOVID-19に感染しているということを意味しません。誰にでも副反応が出るとは限りません。
- 副反応は、体の免疫が**保護を作り上げている**証拠です。そのために日常のアクティビティに多少支障が出るかもしれませんが、ワクチン接種から1-2日で治まります。
- 深刻な副反応を起こすことは非常に稀であり、それらのほとんどは治療可能です。



安全性は？

- ワクチンからCOVID-19に感染することはありません。ワクチンにはCOVID-19を起こすウイルスを含んでいません。
- ワクチンは、有色人種、高齢者、医療状態のある人などを含む、何万人もの人々で検査されており、安全性が確認されています。
- ワクチンが**安全で効果的**であることを確認するための必須条件に従われました。
- 2020年12月以来、**数百万人もの人々が安全に**COVID-19ワクチンの接種を受けました。
- COVID-19のワクチンが男女に不妊を起こすという証拠はなく、妊娠に関する情報は全て安心できるものです。科学者達はCOVID-19のワクチンの副反応を注意深く研究し続けており、彼らが学んだことは共有されています。

ワクチン接種の後

- Johnson&Johnsonのワクチン、または2回目のPfizerかModernaのワクチンを受けてから2週間経っていない限り、**完全にワクチン接種を完了した**とは見なされません。身体が免疫を産生するには時間がかかります。
- ワクチン接種が完了した後も、ご自身と他の人を守るための措置を取り続けましょう。
 - **ぴったりとフィットするマスクを着用する**
 - 具合が悪い時は家で過ごす
 - こまめに手洗いをを行う
 - 空気が流れが悪い混雑した場所やスペースを避ける
 - 他の人との距離を置く

